



親子の正しい スマホとの付き合い方



新しい生活が始まる季節。安心、安全なスマホ（スマートフォン）利用のために、次の点に注意しましょう。

1. 適切にインターネットを利用する

トラブルに巻き込まれないように、スマホの使い方だけでなく、インターネットに関する知識、利用に関するモラルやコミュニケーションの仕方を親子で確認しましょう。



2. 家庭内でルールを作る

生活習慣に悪影響がでないように、お子さんと一緒に話し合い、ルールを作りましょう。ルールは「スマホやネットの利用は21時まで」「必要のない日は学校に持っていかない」など具体的に決めましょう。



3. フィルタリングなどの機能制限を設定する

フィルタリング機能は、不用意に違法または有害サイトにアクセスしないようにする機能です。事件や課金トラブルに巻き込まれる可能性を無くすためにも、子どもが使用するスマホには必ず設定しましょう。設定方法が分からない場合は、携帯電話会社や販売店に確認しましょう。



スマホを利用する上での不安要素とその対策

子どもがスマホを利用することで、個人情報やインターネット上に流出させたり、犯罪被害に巻き込まれたりする事件が増えています。次のような対策を行うことで、多くのトラブルを未然に防ぐことができます。

また、保護者のスマホを子どもに渡す場合も、同様の注意が必要です。

①インターネット依存	②学習・成績への影響
③個人情報の漏えい	④ゲームや買い物などの課金
⑤ネットいじめ被害・加害	⑥誘い出しや性的被害
⑦不適切な情報発信	⑧不適切な情報に触れる影響

工夫やルールで予防可能

フィルタリングで軽減可能

中高生のスマホ・インターネットのトラブル

■SNSによるデマ拡散事例

【正義感や義務感から、情報をSNSで拡散】

【実は情報は嘘で、デマ拡散に加担してしまっていた】

SNS上には「〇〇動物園からライオンが逃げ出した」「もうすぐトイレトペーパーが品薄で買えなくなる」など、危機感をあおるような情報が投稿されていることがあります。

しかし、その中には真偽がはっきりしないものもあり、正義感や義務感から拡散した情報が全くの虚構で、デマ拡散に加担してしまうケースもあります。

情報源や正確性の確認できない情報は投稿したり拡散しないようにしましょう。



■ネット上での誹謗中傷によるトラブル事例

【有名人への悪口をSNS上で投稿】

【同調する人が現れ、誹謗中傷がエスカレート】

【根拠のない誹謗中傷として投稿者が訴えられる】

身近な人はもちろん、テレビで見かける有名人であっても、SNS上に個人の悪口や人格を否定するような投稿をした場合、事実かどうかにかかわらず、名誉棄損や侮辱罪にあたります。

訴訟に至ったケースもあるので、自分の投稿で傷つく人がいないか、しっかり考えてから投稿を行いましょう。

